

令和2年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 市民生活部市民協働課

施設名	弘前市清水交流センター
施設の設置目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図るため。
所在地	弘前市大字大開二丁目1番地2
指定管理者名	清水交流センター管理運営委員会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね適正な管理運営が実施されている。
2 自主事業の実施状況	利用者の増加を図るため継続して自主事業を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から自主事業の実施を見送った。
3 市民サービス向上のための取組状況	快適な利用のため、開館時間前と閉館時間前に必ず清掃を行うほか、敷地内の植栽の管理など、環境美化を行っている。 また、玄関への手指消毒用アルコールの設置、検温の実施、利用団体代表者に対する利用者の連絡先把握の声掛け、換気の実施等、新型コロナウイルス感染症対策に努めている。
4 市民ニーズの把握の実施状況	アンケート調査により利用者からの意見をまとめており、利用者の意見、希望を施設管理、運営に反映できないか検討している。
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	令和2年度の利用許可件数は2,678件、利用者数は36,858人となっており、前年度と比較すると、件数、利用者数ともに減少した。なお、利用者数はなかよし会利用者数を除いている。 (参考:令和元年度 利用許可件数 3,160件、利用者数 39,708人)
6 指定管理業務の収支状況	施設の管理に支障がないよう経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。

7 実地調査の結果

施設内外の維持管理、各種書類の作成・保管の整理、経理の状況等適正に実施されていた。

8 成果指標の達成度

利用件数・・・目標件数3,232件に対し、利用許可件数が2,678件のため、達成度は82.9%
 利用者数・・・目標利用者数47,613人に対し、利用実績者数が36,858人のため、達成度は77.4%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	計画に基づいて事業の実施、又経費節減に努めている。利用者要望にはできるだけ応えるように工夫している。アンケート回答についても、できるだけ要望に答える様にしている。	利用者へのサービス向上・自主事業の実施及び利用者の増加に努めていく。
施設の管理	B	開館前、閉館時の館内見回り清掃・施錠は2名でダブル確認をしている。外掲示板の脚腐食(シロアリによる)の処理。施設内草刈及び垣根剪定、体育室の暖房機点検を含め職員が対応している。塗料の剥離が見られた藤棚下ベンチ(2基)と屋外ベンチ(2基)のペンキ塗りしました。	設備の修繕や備品などについて、担当課と協議しながら進めていく。
経理の状況	A	毎月の収支は確実に執行できている。	予算執行の把握をより強めていく。
団体の財務状況	B	特に無し。	特に無し。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	アンケート実施により、利用者の意見、要望の把握に努めている。新型コロナ感染症対策のため、検温、手指消毒用アルコールの設置、利用団体代表者に対する利用者の連絡先の把握を呼びかけるなど、適切な対応を実施している。	引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、可能な範囲で自主事業の実施について検討していただく。
施設の管理	A	開館前の清掃及び見回り、閉館時の館内見回り・施錠の複数人での確認を実施している。また、職員が外掲示板の脚腐食(シロアリによる)の処理をするなど、施設設備の保守に努めている。	利用者の安全のため、設備の保守に努めていただく。
経理の状況	B	経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	今後も、適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も、安定した財務状況を維持していただく。